

広報 やさと

NO.582

2003
(平成15年)

12月

目次

●第4回議会定例会	P2
●平成14年度町の決算報告	P3～5
●新刊図書のご案内	
●衆議院議員総選挙結果	P6
●八郷の農業後継者たち⑧	P7
●新農業者年金加入について	P8・9
●学校あれこれ⑫	
●フラワーパーク	P10
●八郷の歴史33	
全国一多い小字地名	
●わたしの手料理	
●わが家のアイドル	P11
●みんなの広場	
わたしも一言	
イラスト・習字コーナー	P12
やさと文芸	
やさとメモリー	
広報クイズ	P13
●まちの話題できごと	P14・15
●公民館まつり ほか	P16



「Shall we dance !」

公民館まつり前夜祭 ダンスパーティ
12月4日 中央公民館

平成十五年第四回 議会定例会

平成十四年度一般会計・特別会計の決算などを認定

平成十五年第四回八郷町議会定例会は、十一月二十六日から十二月二日の七日の日程で開催されました。

審議された案件は、平成十五年度の各会計の補正予算などの議案十三件、平成十四年度各会計歳入歳出決算の認定五件、報告一件などで、すべて原案のとおり可決されました。他に人権擁護委員候補の推薦についての諮問がありました。



● 報告

▽専決処分の承認

(平成十五年度八郷町一般会計補

正予算(第五号))

● 議案

▽平成十五年度八郷町一般会計補

正予算(第六号)

歳入歳出それぞれ一九四万九千円を減額して、総額を九七億二、一〇七万六千円としました。

▽平成十五年度八郷町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ八、三七〇万一千円を増額し、総額を二八億一、八八万九千円としました。

▽平成十五年度八郷町下水道事業特別会計補正予算(第三号)

歳入歳出それぞれ四億三、一五億八千円を追加し、総額を一七億四、八〇一万八千円としました。

▽八郷町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法の改正により十二月一日から従来の不在者投票が、期日前投票に改められることに伴い設置が必要となる期日前投票所に

係る投票管理者及び投票立会人の報酬を定めるものです。

▽八郷町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

今年度の人事院等の勧告により、特別職と一般職の給料等の一部を改正するものです。

特別職については、期末手当の年間支給月数を〇・二分引き下げて三・三分としました。

一般職については、すべての級の給料月額を平均で一・一割引き下げるとともに、期末・勤勉手当の年間支給月数を〇・二五分引き下げて四・四分としました。

また、扶養手当、住居手当、通勤手当についても改正されました。

▽八郷町基本構想の改定について
新しい基本構想は、目標年次を平成二十五年とし、将来像を「すこやかにひとが暮らすまち、八郷」としました。

▽八郷町公共施設の暴力排除に関する条例の制定

▽八郷町学校設置条例の一部を改正する条例

朝日小学校と小桜小学校を平成十六年四月一日に統合させることによる改正です。

▽八郷町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

平成十六年四月一日から「マル福」制度の対象年齢を一歳引き上げて四歳未満とするための改正です。

▽八郷町基金設置条例の一部を改正する条例

▽町道路線の認定について
▽町道路線の廃止について
▽町道路線の変更について

● 認定

▽平成十四年度八郷町一般会計歳入歳出決算

▽平成十四年度八郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

▽平成十四年度八郷町老人保健特別会計歳入歳出決算

▽平成十四年度八郷町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

▽平成十四年度八郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算

● 諮問

▽人権擁護委員候補者の推薦について

平成十六年三月三十一日に任期満了となる鈴木央氏を再度法務大臣に推薦することになりました。

平成十四年度 各会計の決算をお知らせします。

平成十四年度の一般会計と
四つの特別会計の決算は、第
四回議会定例会で認定されま
した。
様々な事業を行った平成十
四年度の決算のあらましをお
知らせします。

一般会計決算

平成十四年度の一般会計決算は、
歳入総額一〇五億六七一万円、歳
出総額九九億八、二五六万円とな
り、歳入歳出差引額は五億二、四
一五万円これから翌年度への繰
越財源八、五九三万円を差し引い
た実質収支額は、四億三、八二一
万円となりました。

一般会計と特別会計をあわせた決算規模

●歳入 200億0,004万円
●歳出 189億7,869万円

各会計決算総括表

単位：万円

会 計 名		歳 入	対前年度比	歳 出	対前年度比
一 般 会 計		105億0,671	－8.1	99億8,256	－7.8
特 別 会 計	国民健康保険	25億7,999	－1.7	24億5,605	－5.1
	老 人 保 健	30億0,427	2.3	29億5,772	3.6
	農業集落排水	6,554	4.2	6,194	5.9
	下 水 道	38億4,353	20.2	35億2,042	14.9
	小 計	94億9,333	7.4	89億9,613	4.8
計		200億0,004	－1.3	189億7,869	－2.2

一般会計歳入歳出決算の構成

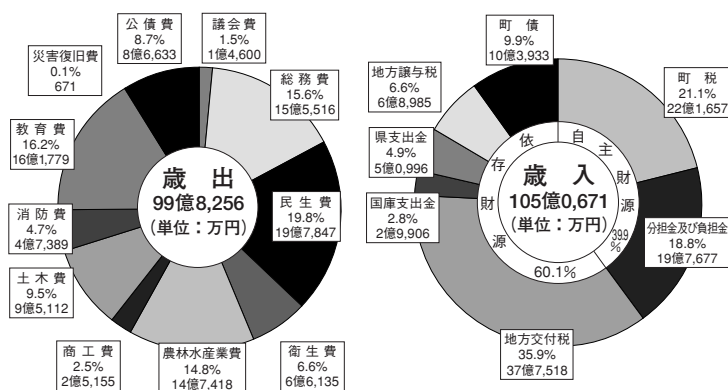


表1 町税の内訳

単位：万円

町民税	82,790
固定資産税	117,874
特別土地保有税	1,446
軽自動車税	4,607
たばこ税	13,212
入湯税	1,727
町税	22億1,656万円

●歳入

歳入では、地方交付税が三七億七、五一八万円で全体の三五・九%を占めています。町税(表1)は二二億一、六五六万円、構成比は二一・一%です。前年度に比べ、町民税や特別土地保有税、たばこ税が減少したものの、固定資産税や軽自動車税、入湯税が増加したため、町税全体では一、七〇五万円〇・八%の増となりました。なお、歳入の全体としては、前年度よりも八・二%減少しました。

●歳出

歳出では、民生費が一九億七、八四七万円でもっとも高い割合を占めました。老人福祉、保育所の運営などを行いました。

次に教育費の一六億一、七七九万円で一六・二%を占めています。小中学校の管理運営や、公民館の運営などが主なものです。総務費は一五億五、五一七万円で一五・六%、農業水産業費は一四億七、四一八万円、土木費は九億五、一二二万円などが主なもので、歳出全体では、前年度と比べて七・八%減少しました。

特別会計決算

◆国民健康保険

歳入は、国庫支出金と国民健康保険税で七八・七%となっています。歳出は、保険給付費と老人保健拠出金で八八・六%を占めました。前年度に比べ歳入は一・七%、歳出は五・二%の減となりました。

◆老人保健

決算に係る対象者数は五、一〇六人でした。歳入の主なものは支払基金交付金と国庫支出金をあわせて八五・四%を占めました。歳出は、医療諸費が主なものです。

◆農業集落排水事業

歳入は一般会計からの繰入金と使用料等が主なもので、歳出は施設の維持管理にあてられました。

◆下水道事業

歳入は、町債・国庫支出金・分担金及び負担金が主なものです。歳出は、施設の工事や維持管理に必要な経費にあてられました。



ために行った主な事業

人々がいきいきと交流
するまちづくり



給食センター

●教育振興補助事業	2,238万円	教職員の研究、児童生徒の活動に補助
●私立幼稚園就園奨励補助事業	1,586万円	就園奨励補助金など
●社会人T T配置事業	2,114万円	ティームティーチング講師10人
●外国青年招致事業	1,028万円	外国人招致AET 2人
●小中学校管理事業	4,674万円	施設修繕、備品・図書購入
●コンピュータ教育推進事業	6,524万円	コンピュータの設置
●町史編さん事業	1,178万円	関係史料の収集を行い資料集を発刊
●情報通信技術講習推進事業	202万円	I T講座の開催
●青少年を育てる八郷町民の会設置	100万円	地域ぐるみの組織を設立
●生涯学習推進事業	271万円	地区公民館自主事業の支援など
●地区公民館運営事業	412万円	地区公民館独自の活動を展開
●中央公民館改修事業	1億2,044万円	空調機・音響機器などの改修
●学校給食センター改築	4億4,424万円	改築工事 面積1,580㎡
●学校給食施設管理事業	1億6,099万円	1日当たり3,170食
●スポーツ教室開設事業	77万円	卓球・スキー・登山教室など
●スポーツ大会等事業	338万円	駅伝・ターゲットバードゴルフなどの開催
●八郷町芸術祭開催事業	150万円	芸術活動の成果発表の機会を提供
●講座開設事業	111万円	各種講座の開催

豊かで活力に満ちた
まちづくり



農産物直売所

●ふるさと創造事業	3,476万円	農産物直売所設置 床面積132.5㎡
●畜産総合対策事業	5,113万円	堆肥舎、蒸発散装置などの整備
●県単農道整備事業	539万円	農道整備 片野地区 208m
●県単土地改良事業	2,625万円	ポンプ交換、排水路護床工事など
●団体営ふるさと農道緊急整備	7,202万円	上林地区他の歩道整備と農道整備
●単町農道整備事業	7,642万円	宇治会地区他7路線 1,927m
●いばらきの野菜産地強化総合推進事業	1,360万円	大型鉄骨ハウス等の設置に補助金
●転作助成事業	1億5,373万円	転作助成金等の交付
●国補林道開設事業	2,052万円	林道半田線の開設
●商工振興費	831万円	商工会への補助など
●観光施設管理事業	195万円	西光院・大覚寺公衆便所修繕

将来像実現のために

●広報事業	748万円	広報やさとの発行
●町政モニター設置事業・まちづくり対話教室実施事業	34万円	町政への意見、要望などの把握



平成14年度 まちづくりの

調和のとれた魅力ある
まちづくり



片野下青柳線

●片野下青柳線道路整備事業	1億5,604万円	改良舗装工事・橋梁上部工事ほか
●岩間・八郷線道路整備事業	1億2,867万円	改良工事・設計委託ほか
●一般町道整備事業	1億9,535万円	10路線 1,499.4mの改良
●町道舗装整備事業	4,394万円	10路線 3,216.0mの舗装整備
●排水整備事業	4,437万円	13路線 1,516.7mの排水整備事業
●交通安全施設整備事業	493万円	カーブミラー・スクールゾーン等設置
●公衆便所設置事業	1,555万円	中央公民館脇に公衆便所を設置
●道路維持補修事業	4,777万円	道路の部分補修と主要道路の除草

安全で快適な環境の
あるまちづくり



下水道事業

●下水道事業（特別会計）	35億2,042万円	管渠・処理場工事
●農業集落排水事業（特別会計）	6,194万円	施設の維持管理
●合併浄化槽設置事業	1,966万円	合併浄化槽設置者に補助金を交付
●ゴミ集積所設置補助事業	68万円	ゴミ集積所設置した区に補助金を交付
●湖北環境衛生組合負担金	8,739万円	し尿処理費
●新治地方広域事務組合負担金	2億6,391万円	塵芥処理費
●新治地方広域事務組合負担金	3億6,841万円	消防費
●防災基盤整備事業	3,226万円	防火水槽・ポンプ積載車購入等

生涯を健やかに過ごせ
るまちづくり



健康づくり推進事業（献血）

●国民健康保険（特別会計）	24億5,605万円	療養給付金・保健事業
●老人保健（特別会計）	29億5,772万円	老人医療給付事業など
●老人保健事業	4,143万円	各種検診・健康相談・健康診査など
●母子保健事業	874万円	健康診査・歯科検診・各種教室の開催
●予防接種事業	2,411万円	各種予防接種の実施
●健康づくり推進事業	94万円	献血の推進・健康まつりの開催
●栄養改善推進事業	150万円	
●保健活動事業	23万円	保健センターだより「けんこう」発行

心のふれあいとおも
いのあるまちづくり



林保育所 発表会

●新治地方広域事務組合負担金	1億7,933万円	介護保険費
●社会福祉協議会事務委託事業	3,719万円	家庭奉仕員派遣事業など
●敬老会助成事業	1,959万円	敬老会の開催に補助・記念品の贈呈
●介護支援センター運営委託事業	1,200万円	介護支援センターの運営を委託
●福祉作業所運営事業	787万円	障害者が社会生活できるよう実施
●保育所運営事業	5億6,866万円	7保育所で579人を保育
●児童手当支給事業	9,636万円	児童の健全育成のために支給
●放課後児童保育事業	223万円	園部地区で学童保育を実施

本の貸し出しは1人
当たり1回5冊まで
です。



貸し出し期間は2週
間です。土・日もご
利用できます。

新刊図書のご案内

○一般図書

日本の歴史を変えた302人 日本歴史人物研究会
13ヶ月と13週と13月と満月の夜 アレックス・シアラー
グッチ裕三の早うまレシピ グッチ裕三
大黒屋光太夫(上・下巻) 吉村 昭
茨城のうまいラーメン ラーメン食べ尽くし隊
必ずみつかる子犬選びの本 中島 眞理
冠婚葬祭大辞典 三省堂編修所
ホーキング未来を語る スティーブン・ホーキング
赤ちゃんとお手てで話そう 吉中みちる・まさくに
アウトドアクッキング100メニュー 太田 潤

○児童図書

川に見える病院から 細谷 亮太
草原の風になりたい 村尾 靖子
影の王 スーザン・クーパー
小野 伸二 小西 弘樹
おばけファクトリー 宮崎 博和
おまけのオバケはおっちょこちょい 深山さくら
かたつむりのグルーイのおはなし ヴィヴィアン・ウォルシュ
メンコ大王はぼくのもの 長谷川知子
宮本武蔵 浜野 卓也
ホワイト・ピーク・ファーム バーリー・ドハーティ

※図書室の未返却本が300冊以上あります。お心あたりのある方は返却していただきますようお願いいたします。

問い合わせ先 中央公民館 TEL43-6262

第43回衆議院議員総選挙 町の投票率(小選挙区) 55.13%



開票状況(役場会議室)

第43回衆議院議員総選挙が、11月9日に行われました。

この選挙は、小選挙区選出議員選挙、比例代表選出議員選挙、第19回最高裁判所裁判官国民審査が同時に実施されました。町の投票状況と開票状況は次のとおりです。

●選挙当日の有権者数

男	12,041人
女	12,336人
計	24,377人

●衆議院小選挙区選出議員選挙

二見 伸明	3,169票
佐藤 せいごう	651票
にわ ゆうや	9,277票

●投票率

小選挙区	55.13%
比例代表	55.11%
国民審査	54.54%

●衆議院比例代表選出議員選挙

社会民主党	463票
公明党	1,804票
自由民主党	6,296票
日本共産党	564票
民主党	3,613票

八郷の農業後継者たち ⑧

山崎 田口 保博さん (25) 花木経営

初めは手にまめができました

「大学を卒業後、家業を継ぎました」

祖父の代から続いている家業を継いで四年目になる田口保博さんは、父義章さんと母早苗さんの三人で約三畝の畑で花木や苗木を栽

培しています。花木は梅や姫りんご、桜、もも、藤で、苗木は栗です。

「初めのころは、はさみの使い方が難しく、秋から冬にかけての剪定作業では、まめができて手も開かなかったほどです。とにかく両親に教わりながらのスタートでし

た」と保博さんは当時を振り返ります。

**天候の傾向を把握すること
も必要です**

年間を通してのスケジュールは、春は畑に苗の植え付け作業や鉢植えを行います。夏は畑や鉢への水かけ作業です。秋は冬苗を畑から抜く作業で、冬は接木（つぎぎ）を行います。

「夏の水かけ作業は一日でも休むことはできません。生き物相手ですからね。この時期は本当に気を使います。それと花木も天候に左右されるので、農業日誌をつけるなどして、気候の傾向を見るのも一つだと考えます。今は温暖化が進んでいるので、これからが心配です」

かつては問屋からの注文も多くありましたが、今では市場への出荷のみとなりました。出荷は春と秋で、関東、関西方面に出荷しています。

**今は忘れたものを
取り戻す時**

父の義章さんは「ここで働くばかりではなく、他の農家を見たりして、もっと世間を知ってもらいたいです。私も若い頃には他の農家に足しげく通いました。何度も通えば話もでるじゃないですか。

良い意味で経営方法や技術など盗むんですよ」と息子さんにかける期待は大きいようです。

これからは、流行ばかり追い求めるのではなく、昔ながらのものに目を向けてみたいと保博さんは言います。

「この仕事も行き着くところまできたような気がします。今は立ち止まり、忘れたものを取り戻す時なのではないでしょうか」と真剣な表情を見せます。

自然の中で働けることに幸せを感じます

花木栽培は年中無休です。保博さんの休みは前もって取ります。

「休みは映画を観たり、スポーツ観戦をしたりします。他にも音楽を聴いたり、ビリヤードも好きですね。とにかく多趣味です」と話す保博さんは、友だちとお酒を飲んでカラオケで歌うことが一番のストレス発散方法だと言います。

仕事とプライベートにメリハリをつけることで毎日の生活に活力が出ているようです。

「自然の中で仕事ができることに幸せを感じています。これって健康的ですよ」

来月号も引き続き農業後継者の紹介をします。ご期待ください。



「自然の中で毎日気持ち良く仕事をしています。ポリシーを持ちながら良いものを作りたいです」と保博さんは話します。

農業委員会事務局からのお知らせ

新農業者年金に加入しましょう

●問い合わせ先

役場二階 農業委員会事務局（内線二二五）
八郷町農協（電話 四三―一二〇）

農業者年金の7つの利点 制度の仕組み

1 確定拠出型で長期に安定した制度です

21世紀の日本は、超高齢・人口減少社会になると予測されています。引退後の長い老後を安心して暮らすためには若いうちからの備えが必要で、年金への加入は欠かせません。財政事情の悪化などから年金に対する不信感が広がっていますが、新しい農業者年金は少子・高齢化による加入者数の変化や財政事情に左右されない、いまの時代にぴったりの安全・安心な公的年金です。担い手への保険料の助成や税金控除など多くの利点があり、農業者の確保に資する政策年金として農政上も位置づけられています。

将来の年金受給に必要な原資をあらかじめ自分で積み立て、運用実績により受給額が決まる確定拠出型年金です。加入者や受給者の数に影響されない安定した年金制度であり、運用利回りの状況などで保険料が引き上げられることはありません。

2 農業に従事する人は、広く加入できます

国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人は誰でも加入できます。農地を持っていない農業者や、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。脱退も自由です。脱退一時金は支給されませんが、



加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は将来、年金として受け取れます。

旧制度の加入者で特例脱退した人も、特例脱退をしないで平成14年1月1日の新制度スタート時点で継続加入しなかった人（旧制度の受給権者）も加入できます。

3 保険料の額は自由に決められます

毎月の保険料は2万円を基本に、最高6万7000円まで1000円単位で自由に決められますので、経済的な状況や老後設計に応じていつでも見直すことができます。余裕がないときは積み立てないで、余裕が出てきたときにけいに積み増しするということも可能です。

4 80歳までの保証が付いた終身年金です

年金は亡くなるまで受け取れますが、仮に加入者や受給者が80歳になる前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取るはずの年金（老齢年金）を予定利率で割り戻した額を、死亡一

時金として遺族が受け取れます。

5 早く加入するほど有利です

加入期間が長いほど、複利効果などで運用益のアップが期待できます。



●農業者年金

節税効果があるわけで、所得額に

6 税制面でも大きな利点があります

6

税制面でも大きな利点があります

保険料は全額（最高年額 80 万

4000円）、所得税の社会保険料

控除の対象になります（個人年金

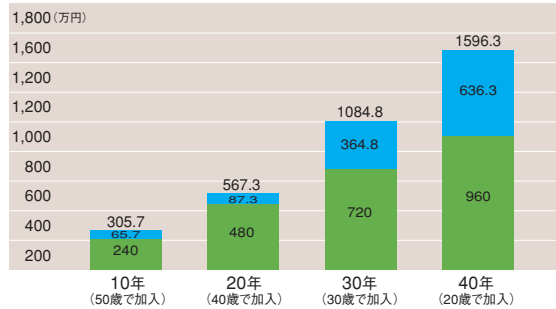
の場合、控除額の上限は5万円

です）所得額が増えるほど大きな

節税効果があるわけで、所得額に

試算上の仮定
保険料月額2万円、運用利回り65歳まで
2%、65歳以降10%受取総額は農業者年
金における65歳での平均余命が前提

年金額の試算



※複利方式とは、一定期間ごとに
利息を元金に繰り入れ、それを次
期の元金とする計算方法で、元金
に付いた利息がまた元金に組み込
まれて増えていきます。

● 国民年金に加入
● 子供2人は扶養
● 農業所得は専従者給与差引後の
金額。
● 夫婦・子供
2人の世帯を想定。
● (試算の前提条件)

保険料支払いによる減税効果(国税・地方税)試算

(単位: 円)

農業所得	政策支援加入者の場合の減税額			通常加入の場合の減税額		
	特例保険料 (月額)			通常保険料 (月額)		
	10,000円 (1万円の助成)	14,000円 (6千円の助成)	16,000円 (4千円の助成)	20,000円	50,000円	67,000円
300万円	14,600	20,600	23,600	29,400	73,500	98,600
600万円	31,200	43,800	50,100	62,400	156,000	209,200
900万円	34,800	48,700	55,800	69,600	173,500	226,700

よつては政策支援より大きな利点
になる場合もあります。
また、預貯金では利子の20%が
課税されますが、農業者年金の運
用益は非課税です。さらに、受け
取る年金についても、公的年金等
控除の対象となります。

7 意欲のある担い手は保険料 助成が受けられ、土地を持 たない女性も対象となります

7

意欲のある担い手は保険料

助成が受けられ、土地を持

たない女性も対象となります

経費を除いた農業所得が9000

万円以下で、60歳までに20年以上

加入することが見込まれ、かつ左

の表の区分1～5のいずれかの条

件を満たせば、基本保険料(2万

円)のうち国から最高半額の助成

(政策支援)があります。国民年

金以外では、唯一国からの保険料

助成がある政策年金で、35歳未満

の若い人ほど有利です。政策支援

を受けている間は保険料は2万円

に据え置かれ、増やすことはでき

ません。

助成部分は「特例付加年金」と

呼ばれ、原則65歳以降の年金受

給時までに後継者や第三者に経営

を継承する必要がありますが、区

分2の配偶者は家族経営協定を廃

止すれば経営を継承したることにな

るため、受給しやすくなっています。

経営を継承できない場合でも、

自己負担部分の農業者老齢年金は

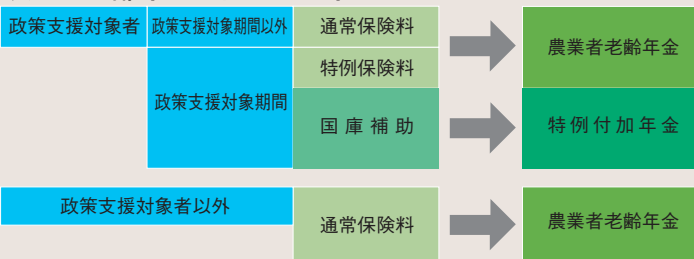
受給できます。

保険料の助成対象者と助成額

区分	必要な要件	35歳未満	35歳以上
1	認定農業者(認定就農者を含む)で青色申告者	10,000円	6,000円
2	区分1の人と家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者または後継者	10,000円	6,000円
3	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす人で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円	4,000円
4	35歳まで(25歳未満の場合は10年以内)に区分1の者となることを約束した後継者	4,000円	—
5	旧制度からの継続加入者(平成16年12月まで)	6,000円	4,000円

※保険料の助成は、35歳未満であれば要件を満たしているすべての期間、35歳以上では10年間を限度として通算して最大20年間受けられます。
※区分5の人は、平成14年1月1日時点で55歳未満で、加入期間が旧制度と通算して20年以上ある人です。

農業者老齢年金と特例付加年金



記事提供：全国農業会議所

農業者老齢年金と特例付加年金
新農業者年金には、政策支援を
受けない年金(農業者老齢年金)
と政策支援を受けた年金(特例付
加年金)の2種類があります。
農業者老齢年金は、自分で支払
った保険料に基づく年金であり、
特例付加年金は保険料の助成を受
けた部分に基づく年金です。いず
れも65歳からの受給が原則です
が、60歳からの繰り上げ受給がで
きます。特例付加年金は、経営継
承の都合などで65歳を過ぎて受給
開始することも可能です(その分、
年金額は高くなります)。



学ぶ楽しさ・行動する楽しさを育てる

園部小学校

園部中学校は、創立五十六年目を迎え、教職員十九名、生徒数二百十七名の八学級です。

今年度の学校教育目標を『目標

の実現のために努力する「過程」

を重視し、一人一人の生徒に精

一杯学ぶことや活動することによ

る本当の楽しさを感じ取らせ、

豊かな人間性を養う』とし、「過

程」・「感性」・「よさ」の三つ

の言葉を学校経営のキーワード

にしながら、

○学力の向上

○体力の向上

○学校行事改善

○生徒指導の充実

○進路指導の充実

○地域の人材の活用

の六本の柱を立てて、

生徒たちのよさや可能性を

引き出すこと、生徒たちの「心

を磨く」ことを多くの教育活動

の場で実現できるように努めて

おります。

次に、本校では学校

行事を通じて生徒たちが

が大きく育つことに注

目し、特に「体育祭」

を行いました。



合唱コンクールにおける全体合唱の一場面（保護者席の様子）

ました。

・午前 合唱コンクール

・午後 レクリエーション

ステージ発表

合唱コンクールは、各学級ごと

の合唱発表があり、各学級とも素

晴らしい歌声を発表していました。

当日の発表だけでなく、練習を通

じてクラスの結束が強まったこと

を生徒一人一人が実感できたこと

に大きな意義がありました。

また、本年度から取り入れた生

徒・教職員・保護者合同による合

唱では、『翼をください』を歌っ

たのですが、歌い終わったとき館

内は感動の嵐に包まれました。

午後のレクリエーションとステ

ージ発表でも普段の学校生活では

見られない活発な生徒の動きがあ

りました。この行事を通じて、本

校の生徒たちのよさや可能性を引

き出すことができました。

今後も、生徒一人一人を大切に

しながら、充実した学校生活を通

して生徒がよりよく伸びていける

ように様々な試みや努力を重ねて

いきたいと考えています。

（文責 園部中学校校長

野村和夫）

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

冬バラまつり

1月3日(土)～25日(日)

茨城県フラワーパークでは『冬のバラまつり』を一月三日(土)から一月二十五日(日)まで開催いたします。

●期間中の催し物●

「冬バラ展」

一月三日(土)～二十五日(日)

冬に咲くバラを創作展示し、

観賞していただきます。

「お年玉プレゼント」

一月三日(土)～十二日(月)

入園されたお客さまにプレゼ

ントいたします。

「北村馬骨(ぼこつ) 書色紙プ

レゼント」

一月三日(土)・四日(日)

八郷町在住の書家北村馬骨先

生の直筆色紙、短冊をチャリテ

ィーでプレゼント。

「北村馬骨書展」

一月三日(土)～十二日(月)

書家北村馬骨先生による作品



展。

「園芸教室」(洋ランの楽し

み方)

一月四日(日)

十三時三十分～

洋ランの楽しみ方についての講

話と実技指導を行います。

「バラの切花展」

一月十日(土)～十八日(日)

県内バラ切花の新品種および

栽培品種約四十品種を展示。

「体験教室」(バラの剪定法)

一月十一日(日)

十三時三十分～

バラの剪定についての講話と実

技指導を行います。(受講無料)

開園時間は午前九時から午後

四時までです。(入園は午後三

時三十分まで)

詳しくは☎四二一四一一一

までお問い合わせください。

八郷の歴史

(33)

全国一多い小字地名

八郷町史編さん事業のひとつとして、八郷町の旧八カ町村にある小字地名を調査して見て、その数の多さに驚きました。

全国の地名を扱ったものに角川書店発行の地名辞典があります。その中で最も地名の多い県は茨城県と高知県でした。茨城県では八郷町・大子町などが最も小字地名が多い町村である。したがって全国一小字地名の多い町といえます。

地名を扱った古文書では、慶長検地帳をはじめとして、幾つかの江戸期の年代に記された土地台帳としての検地帳が発見されました。明治期になると、新しい村は統一した土地台帳が明治四年に作成

され、その後は今でいう町勢要覧と同じような地積簿が三年ごとに作成されました。その中には小字名が全て記されています。この地名を、一つ・二つと調査して歩き、約五〇〇〇点ほどある場所を確認して歩きました。とてつもない時間と労力を費やしてやっと一冊にまとめることが出来ました。平成十六年一月に発行することになりました。

山根五十三ヶ村といわれた江戸時代から近年の土地改良事業に至るまでの地名の誕生や消滅を、旧八ヶ町村ごとに分類して出来る限り名前の由来などを書き加えて見ました。全てが地元の人や土地の所有者の知っている通りの名前であるかどうかとなると、自信が持てません。しかし、様々な理由で消え行く地名だけでもいま記録しておかなければと思いつつ、

まとめた記録書です。

例えば、『新編常陸国誌』の宇治会村の項に「宇治会二荒地・中郷・表・弓張・村子ノ五坪アリ」とあります。また、『寛政寺院本末帳』に「源照寺・宇治会村字寺」とあります。しかし、これらの小字名は明治四年作成の土地台帳や、その後作成した「地積簿」には載らず、「字毛無山」で統一して載っています。これは、明治政府が江戸期の不統一・字切図を、統一した大きな地積図にした際に、小さな一・二筆の地名を合併して大きな地名にしたために消滅したと考えられています。この他にも、土地改良事業による消滅地名など様々な理由で消滅した地名が多くあり、今のうちに記録して置きたいと考えてまとめた本ができあがりました。町史編さん専門委員 民俗 関 肇



明治四年の土地台帳（写真説明）

わたしの手料理

ヤーコン入りちらし寿司



食生活改善推進員（ヘルスマイト）

谷 仲 暢 子（太田）

【材料】（4人分）

○米 3カップ ○水 3・1/4カップ ○ヤーコン150g ○黄菊 1/2カップ ○にんじん 中1本 ○干しいたけ 3枚 ○きゅうり 1本
A [酢 大さじ6、砂糖 大さじ2]
合わせ酢 [酢大さじ4、砂糖 大さじ3、塩 小さじ1]
B [砂糖 小さじ1、しょうゆ 大さじ1・1/3、みりん 小さじ1、酒 小さじ1、しいたけの戻し汁 27cc]
C [酢 小さじ2/3、砂糖 小さじ2/3]

【作り方】

①ご飯を炊いて酢飯を作る。②ヤーコンは皮をむき、酢水であくを抜いてからAで煮る。にんじんと干しいたけは3cm位の千切りにして、Bで煮る。③きゅうりは千切りにする。④黄菊は酢水でさっと茹で、Cにつけておく。⑤①～Cを混ぜ合わせて皿に盛り、黄菊を中心に、きゅうりの千切りをそのまわりにちらしてできあがり。

わが家のアイドル



上青柳

桜井 亜 美 ちゃん

平成14年3月12日生まれ

父 正樹さん 母 明子さん

♥家族からの一言

家族の前で歌を歌ったり、ボールで遊んだりすることが大好きな活発な女の子です。最近では駆け足が上手になり、日課の散歩では、スタスタと先に行ってしまうほどの成長ぶりです。人を思いやる優しい子に育ってほしいですね。



P.N Chiyuki



柿岡 数藤朱梨



P.N 蒲公英



P.N アップル



P.N 神無月はやし

「わたしも一言」

朝

夕、犬の散歩をさせている人が多く見られます。どなたを見てもフンを処理する袋を持っている人は見当たりません。このような人はペットを飼う資格はないと思います。どのような場所であろうとも、必ず処理袋は持つて行くようにしたいものです。町でも美化運動を大々的に宣伝してはいかがでしょうか。 匿名

♣ ご指摘のように、犬のフンの後始末については、飼い主が守るべき基本的なマナーです。町では糞害対策として、住民の方の要望により、飼い主のマナー啓発を促す看板を配布しております。また、広報での糞害防止の記事の掲載、啓発チラシの回覧等により、

みんなの広場

習字コーナー

評 玄潮会理事 森 浩 亭

恋瀬小 一年 飯村 恵



思い切り良く、楽しく書けた作品です。

恋瀬小 三年 木村 郁 裕



ぐいぐいと強くスケールの大きな作品です。

県

民の日にフラワーパークで片野の排禍ばやしを見ることができました。会長さんの説明では四、五十年前からの伝統だということでした。

獅子舞や狐の踊りでの雄姿は本当に禍を追いつかうような舞でした。また、おかめさんやひよっとこさんは顔を見るだけで、貧困も苦労も心の悩みも忘れて笑い出してしまう。あまたの友人と腹から笑って楽しい一日を過ごして帰りました。排禍ばやしのみなさんありがとうございます。 匿名

♣ 心で感動することは体の健康にもつながります。それと笑うことも体に良いそうです。一日一回大笑いしましょう。 広報係

全問正解者のなかから
抽選ですてきな賞品が当
たるよ

広報クイズ 189

3つの答えの中から正解を選びハガキに書いて送ってください。

①平成14年度一般会計と特別会計を合わせた決算の歳出額は？

- A - 200億4万円
B - 198億4万円
C - 189億7869万円

②平成14年度一般会計歳入の町税の内訳で一番多かったのは何税ですか？

- A - 入湯税 B - 固定資産税
C - 町民税

③12月6日、7日に行われた公民館まつりは今年で何回目でしたか？

- A - 21回目 B - 28回目
C - 32回目

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ189と書き、
答えの記号(例①-A)、住所、氏名、
年齢、世帯主と「私もひとこと」へ
のご意見や広報の感想などを書いて
送ってください。イラストやマンガ
も大歓迎。

☆締切日 平成16年1月15日
(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡
5680-1

八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙2月号

[広報クイズ187の当選者の発表]

正解は①-C、②-B、③-C・で
した。応募総数34通、正解34通の中
から次の10人が正解しました。

安達正子(宇治会) 市村志つ(小見)
小澤早由里(柿岡) 鴻巣萌(小野
越) 田口博保(柿岡) 田口ふみ(片
野) 萩原照子(月岡) 萩原三代子(月
岡) 藤原勇(山崎) 山中和(片野)

【敬称略】



P.N はちみつクマさん



月岡 萩原志づ



P.N テレビ・ジョン

●やさと文芸

短歌

大塚 誠選

晴れた朝色づく山の空高くとんずる鳶緩やかに輪を描いて飛ぶ

弓 弦 塚田 キヨ

枯るもの枯れ尽したる田の畦に一群赤く犬いぬ蓼の花

吉生 土佐 信司

晩秋の野を煌めかせ朝露の降りたる様にしばし見入りぬ

山崎 荒井 幸子

俳句

綿引鼓峰選

野佛の前に燃え出で曼珠沙華

東成井 長谷川 政雄

秋灯下老眼鏡をかけ替へて

宇治会 河野 純三

我が年を思ひて秋を惜しみけり

柴内 飯島 よう子

俚謡

鈴木 弦月選

東筑波の出湯の里で老いて楽しいクラス会

下林 白井 富喜江

釣瓶落しの秋の日暮れて筑波絵のよな茜雲

柿岡 鈴木 千代子

晴れて結婚東雲ついて成田飛び立つハネムーン

下林 谷島 清風

やさ

と



昭和六十年当時のしめ縄づくり。
一家総出で最後の追い込みをかけ
ます。(東成井・中島さん宅)。
今でも町内でしめ縄づくりが行
われていますが、お正月には欠か
すことのない一つですね。

「まちの話」題で「き」と

身近な出来事や地元の話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課「内線一三四三」)



心に残る親子遠足

十一月二十六日に、家庭教育学級親子遠足が柿岡小学校一年生とその保護者四十六組あわせて九十二人の参加で行われました。

当日は瓦会地区にある「ダチョウ牧場」でダチョウを見てから、県立吾国山洗心館へ移動し、親子で落ち葉などを集め、画用紙に思い思いの形に貼り付けました。

その後、八郷すてき旅案内人の杉山照子さんと、鈴木俊勝さんによる昔話「長楽寺の天狗」の紙芝居を鑑賞しました。子どもたちは、紙芝居の前に真剣な表情でした。昼食後は学校に戻り授業参観が行われ、子どもたちは遠足での出来事を日記に記しました。心に残る遠足になったようです。

人権擁護作文コンテストで優秀賞

第二十三回全国中学生人権作文コンテスト茨城県大会で、園部中の斉藤巧さん(二年)がこのほど優秀賞を受賞しました。県への出品数は五十二編で、その中から厳正な審査のもと選ばれたものです。

斉藤さんは「このような賞をいただけて嬉しいです」と受賞の喜びを語りました。賞状は、十一月二十八日に水戸で行われた表彰式で手渡されました。



水戸地方法務局土浦支局長より
県南大会最優秀賞を伝達(園中にて)

八郷町から芸術を発進

十一月十二日から十六日までの五日間、八郷町役場会議室を会場に、八郷町芸術祭企画展が行われました。

これは町芸術祭企画実行委員会(梶谷胖会長)が主催した企画展で、今年で七回目になります。

同企画展には青磁の浦口雅行さん、彫刻のクリストファ・M・ガストンさん、日本画の篠原康夫さんが出展し、会場には先生方の作品を人目見ようと多くの方たちが入れ替わり立ち替わり訪れ、作品に見入っていました。

工業統計調査のお知らせ

平成十五年工業統計調査が十二月三十一日現在で行われます。

製造業を営んでおります事業所へ、県から任命された調査員がお伺いいたしますので、年末・年始のお忙しいところとは存じますが、調査票の記入、提出についてご協力くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先 役場企画課
内線一三二五

第六回八郷町議長杯TBG大会

11月23日・八郷町総合運動公園

男子の部▽優勝 友部章(大塚)
▽準優勝 海野重俊(大増)▽三位 潮田敏(大増)▽四位 松浦秀雄(真家)▽五位 鈴木昌平(大増) 女子の部▽優勝 岡本とく(大増)▽準優勝 底節丈上 尊▽三位 鈴木恒子(太田)

【敬称略】

■訂正 十二月一日号広報やさとお知らせ版No.847の中で第七回八郷町芸術祭とありましたが、正しくは八郷町芸術祭の誤りです。広報やさと十一月号の四、五ページのウォーキング大会の中で、鈴木光夫会長とありましたが、鈴木

秋の叙勲 瑞宝単光章

比企たまさん（小幡・72歳）

元民生児童委員



「こんなに素晴らしい章をいただいて良いものかと思っています

す。まわりの皆さんに助けられたからこそ、できたことです」と謙虚に受章を喜ぶ比企さん。比企さんは、昭和四十年から平成十三年まで民生児童委員を務め、地域福祉の向上に貢献してきました。

民生児童委員は、低所得世帯や要援護老人、問題を抱える児童などの暮らしと福祉の良き相談相手として、厚生労働大臣から委嘱を受けた方たちです。

「民生児童委員のお話をいただいた時、少々不安はありましたが、それよりもやってみたい気持ちが強かったことを覚えていま

す」と振り返ります。一人娘として育ち、世間のことをあまり良く知らなかったと言う比企さんは、これを機会に外に目を向けながらみなさんの役に立っていかうと心に決めたそうです。当時、比企さんには三人の子どもがいました。

比企さんの担当地区は瓦会地区の一部でした。「たくさんの人達とかかわってきました。担当地区でも遠くて目が届かない所は、友

人に頼んだりしていましたね。本当にまわりの皆さんには助けてもらいっぱなしでしたよ」と感謝を込めて話します。

なお、今回の受賞の一年前には、夫光雄さんが水先案内人として叙勲を受けています。来年、光雄さんは定年で職務をご勇退されます。「夫の仕事が終わりましたら子どもたちを家に集めて、何かやりたいです。例えば剣道教室とかね」。比企さんの夢は広がります。

功績者表彰

小池 貢さん（小幡・77歳）

矢師



十一月十三日の県民の日に茨城県表彰式が県庁で行われ、八

郷町では小幡の矢師小池貢さんが功績者表彰を受賞しました。

小池さんは、父で四代続く矢づくりを二十七歳で継ぎました。「慣れるまでは大変でしたよ」と当時を懐かしそうに振り返ります。

小池さんの矢づくりは竹集めから始まります。竹を取るのは秋で、県内の山へ出向き、自ら竹を切ります。年間におよそ二千本の矢を作るため、その三倍の竹が必要になります。「二年生の竹を根元から切るのがコツ」と小池さん。根元から切ること、四本で一組の矢の節が合うそうです。山から取

ってきた竹は皮をむいて入梅前まで天日干しにします。

矢づくりははじめに干した竹の曲がりや炭で温めながら榎の木でできた矯木で一節ごとにまっすぐにしていきます。これを荒矯（あらため）と言います。次に竹の皮を削り、川砂と石を使って竹の削り目を取る作業をします。それから本火で色づけです。水を竹につけながら火に入れることで強い竹になるそうです。次に竹を洗い、最後に木賊（とくさ）に水をつけながら竹を磨きます。

「会心の作は長年やってきまし

たがなかなかないですね。四本の矢が良い竹で、節がそろい、節の穴の大きさが同じものなんてめったにないですからね」

小池さんはいつも心を込めて一本一本作ることをモットーとして職務に励んでいます。自分の作った矢を使っている人から感謝の言葉を頂くときが一番嬉しいとこやかに言います。

「喜びがあるからこそ続けられます。まだまだ現役ですよ」



十二月は 大気汚染防止推進月間です。

冬の空気は冷たくて澄んでいるというイメージを持っていましたが、冬は一年間で最も空気が汚れやすい季節で、特に十二月は窒素酸化物（NOx）濃度が最も高くなるそうです。これは、クルマの排気ガスや家庭などの暖房によって排出されるNOxが、年末の繁忙期を迎え交通量が増えることや、暖房のフル稼働によってどんどん排出されてしまうからです。

さらに、冬は、逆転層という現象が発生して、地表付近の汚れた空気が上空に拡散されないために汚れてしまうそうです。

空気が汚れるのを少しでも抑え、きれいな空を子供たちに引き継ぐために、暖房を控えるなど私たちができる小さな努力を心がけましょう。

（W）

公民館まつり

第21回

講座や同好会の皆さんが成果を発表



パンの花



手作り人形



パッチワーク



陶芸



皮革工芸

12月6日と7日、中央公民館を会場に第21回公民館まつりが開催されました。4日には前夜祭ダンスパーティーが行われました。

6日は、講座や同好会の展示・発表、映画「ハリーポッターと秘密の部屋」の上映があり、多くの鑑賞者で賑わいました。ステージ発表では、子どもたちが大喜びの「子ども人形劇」が行われました。

7日は、展示・発表のほか体験コーナーが催され、おりがみマジックに挑戦したり、竹とんぼ・スライムを作ったりしました。

ステージ発表では、講座や同好会の皆さんが一年間の練習の成果を披露してくれました。休息所では、ヘルスメイトによる弁当・豚汁・甘酒の販売があり、たいへん好評でした。

公民館まつりの最後に、同好会生による作品のバザーが行われ、すべて完売し大盛況を納めました。

公民館では、生涯学習の中心的な役割を担うため様々な活動を行っています。皆さんも生きがいづくりにぜひご利用下さい。

◆展示・発表◆

【講座生】

●ガーデニング●まゆクラフト●子ども陶芸●ビーズアクセサリー●楽しい似顔絵●講座スナップ写真

【同好会】

●水墨画●パッチワーク●陶芸●俳句●木目込人形●七宝焼●読書会●パンの花●手編み●皮革工芸●手作り人形●絵てがみ●絵画●植物画●折り紙●木工を楽しむ会●レッツダンシングママ

◆体験コーナー◆

●おりがみマジックに挑戦してみよう ●竹とんぼを作ろう ●スライムで遊ぼう

◆ステージ発表◆

●子ども人形劇●オカリナ同好会●太極拳同好会●オカリナ同好会「ポコパコ」●コール有明(女声合唱同好会)●合唱団つくばおろし●八郷町少年少女合唱●ギター同好会●やさしと箏の音会●エアロビクス同好会●ダンベル体操同好会●レッツダンシングママ●フラダンス同好会●ことばと八郷民話の魅力講座●大正琴のばら同好会●大正琴のぎく同好会●和太鼓講座●和太鼓夢ひびき



まゆクラフト



子ども人形劇



オカリナ同好会



エアロビクス同好会・ダンベル体操同好会・レッツダンシングママ



フラダンス同好会



はなぞの橋付近

平成十五年十一月、町道片野・下青柳線が開通しました。
この道路は、県道土浦・笠間線の片野地内から県道月岡・真壁線の下青柳地内を結ぶ道路です。この道路が開通したことにより、既に開通している片野地内から県道産センターを経て石岡市に至る道路と接続して、国道6号や県の中央部地区への交通手段の機能が格段に向上しました。
延長二・九八八メートル
幅員 車道六メートル 歩道三・五メートル
●役場建設課 内線二一八四

町道片野・下青柳線が開通しました。